

横浜は2009年に開港150周年を迎えます。この開港150周年を機に、今一度、横浜の歴史について学び、楽しみながら、さまざまなイベントで多くの人たちと開港150周年を祝う市民による「横浜開港150周年を楽しむ会」が発足しました。会による取組の第一弾として、開港以来の横浜の歴史を知るために、中央図書館を会場に連続講座を開催いたします。

横浜開港150年記念イベント よこはま都市づくりシリーズ 1

都市のインフラづくり

横浜開港とインフラ整備——開港場と周辺地域の幕末・明治

第1回 『鉄道開通と初代横浜駅(現桜木町駅)』

日時 平成19年5月12日(土) 14:00~16:00

講師 西川武臣氏(横浜開港資料館調査研究員)

幕末から明治初年にかけての近代的な交通手段の登場を鉄道開通を中心に紹介します。

第2回 『開港場を支えた川と舟運』

日時 平成19年5月26日(土) 14:00~16:00

講師 松本洋幸氏(横浜開港資料館調査研究員)

関内・関外と呼ばれた地域の川を利用した舟運を紹介し、川と人々のかかわりを振り返ります。

第3回 『水道の整備と下肥処理』

日時 平成19年6月9日(土) 14:00~16:00

講師 平野正裕氏(横浜開港資料館調査研究員)

多摩川から横浜に引いた木樋水道(明治6年完成)と同時期におこなわれた人糞処理の実態を紹介します。



「横浜鉄道館蒸気車往返之図」(部分)

横浜市中央図書館所蔵

会場 横浜市中央図書館 B1F ホール

定員 各回 180名(先着順)

受講料 各回 500円(資料費)

申込み 「希望回、氏名、電話・ファックスまたはEメール」を書いて下記のいずれかにお申し込みください。(受付中です。)

電話: 045-663-1034

FAX: 045-663-1068

Eメール: kouza_yk150@y7.dion.ne.jp

*いただいた情報は、この講座以外では使用しません。



横浜市中央図書館

京浜急行日ノ出町駅下車5分

JR、市営地下鉄桜木町駅下車10分

主催: 横浜開港150周年を楽しむ会

協力: 横浜市中央図書館

横浜開港資料館

横浜開港 150 周年を楽しむ会とは

ハリスと岩瀬忠震・井上清直との間で調印された、日米修好通商条約に基づいて横浜開港が行われた 1859(安政6)年からもうすぐ 150 年になります。開港以来日本は、幕府の解体、明治維新、大震災、空襲、終戦と経験してきましたが、この間横浜は、経済、文化の交流拠点として日本の発展に大きく寄与してきました。

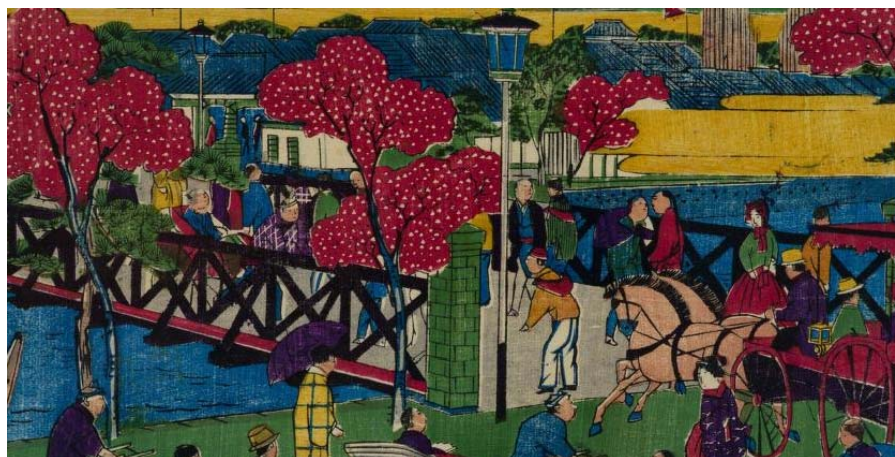
そんな横浜を、この開港 150 周年を機に、今一度学び、そして楽しもうと発起人が集まりここに広く有志・市民に呼びかけたいと思います。

横浜開港とはなんだったのか、現在の横浜発展の原点である開港から明治時代を通して現代までの歴史を振り返り、型にとらわれない、さまざまなイベントを創って多くの人たちとともに開港 150 周年を祝いたいと考えています。

まずは、開港以来の横浜の歴史を知るために、横浜中央図書館や横浜開港資料館等の協力を得ながら連続講座を開催していきます。講師はいろいろな博物館や資料館の研究員・学芸員を依頼していく予定です。また、講座をきっかけに集まった方々とともにさらに次のイベントを企画していきたいと考えています。



「横浜真景一覧図絵」(部分) (横浜中央図書館所蔵)



「写真名所一覧 横浜吉田橋」(部分) (横浜中央図書館所蔵)